

知事就任10年間の取組

みんなでつくろう！

健康しが

KENKOU SHIGA

令和6年（2024年）7月17日（水）

本日、お話すること

- ① 10年を振り返って
- ② 今、考える、思う 事々
- ③ 今後に向けて

10年を振り返って

新しい豊かさ

県政継承と土台づくり

1 期目

2014
(H26)

- 「新しい豊かさ」
- SDGs を県政へ
- 県政の基盤整備
- 滋賀県庁健康経営宣言



種まきと発芽

2 期目

2018
(H30)

健康
しが
みんなでつくろう!



Mother Lake
Goals
変えよう、あなたと私から

- 「健康しが」スタート
- 新型コロナウイルス発生
そして、見出した光
- より良き自治の追求

コロナ



健康しが

そして、今
新たな挑戦

3 期目

2022
(R4)

- 子ども・子ども・子ども
- 「北の近江」振興プロジェクト
- 「自治の追求」の新たなチャレンジ
- 「水」のつながり
- 広がる役割



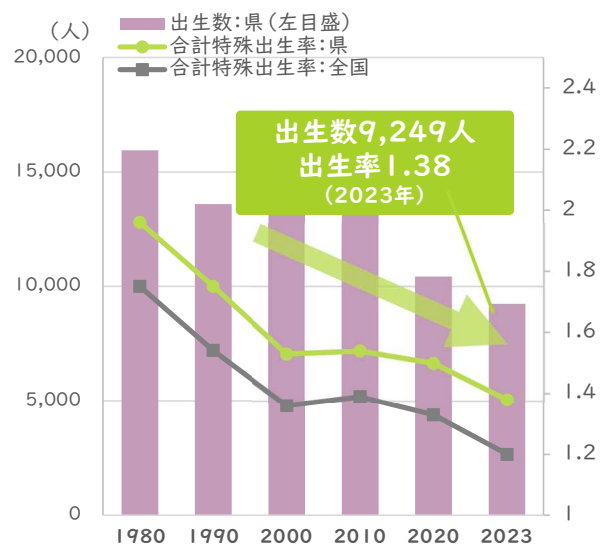
基本姿勢：対話・共感・協働、現場主義

本日、お話すること

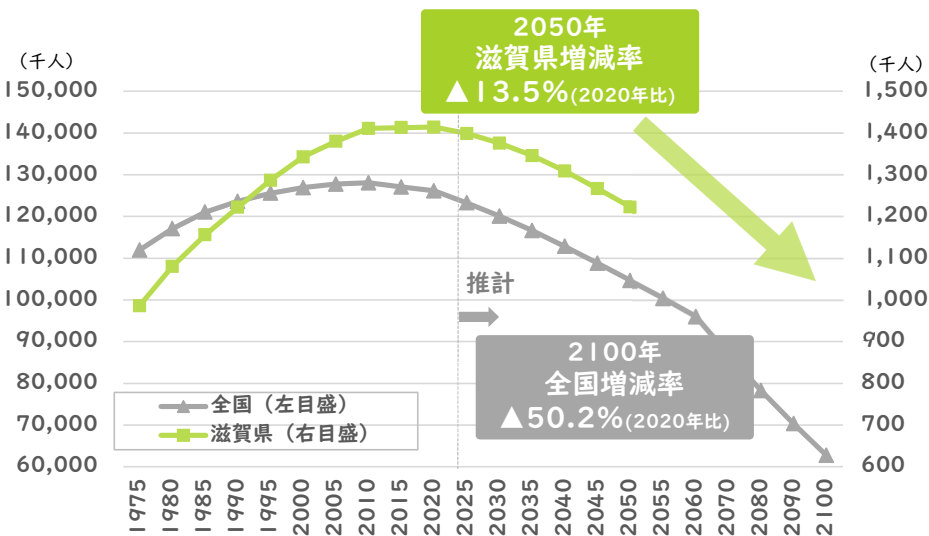
- ① 10年を振り返って
- ② 今、考える、思う 事々
- ③ 今後に向けて

！ 人が減り、老いる。社会が変わる。

● 出生数と合計特殊出生率（滋賀県）

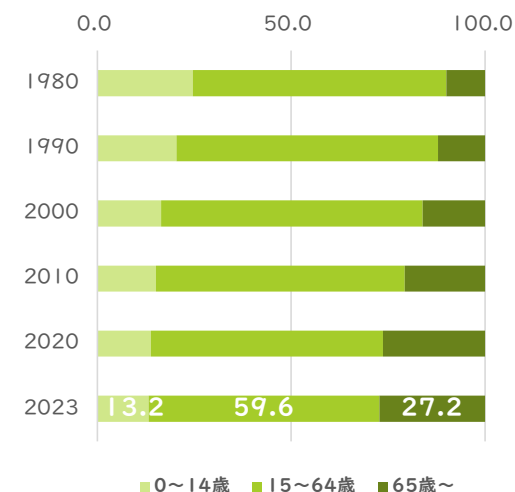


● 人口動態（滋賀県・全国）



国勢調査（総務省）、国立社会保障・人口問題研究所推計

● 年齢階層別人口構成（滋賀県）



どうする？

人口減少局面と持続可能な滋賀

2100年の滋賀県

人口約70万人の可能性？

(2020年1,414千人×50%=707千人)

！ 人が減り、老いる。社会が変わる。

人

滋賀の宝をみんなで育てる

子どもが笑顔で過ごせる社会

老いても生きること喜び

生きる力と学ぶ力で

いきいきワクワク、夢ある人生

健康
しが



社会

だれもが、自分らしく、生きる社会

すべてのひとに居場所と出番

ともに地域をつくっていく

2100年の滋賀県へ

変わる滋賀
続く幸せ

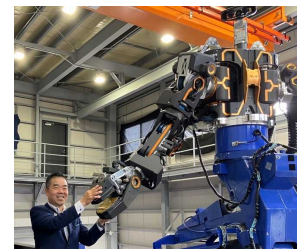
これまでの歩みを大切にしながら、
変わっていく社会に、
どのように臨むか

経済

つくる力とつなげる力で

暮らしに安心と活力

社会によりよい変化



環境

生態系サービスは礎

自然のなかで

ともにいきる



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

! “Local to Local” 変わる世界とともに。



ミシガン州姉妹協定55周年



湖南省友好提携40周年



駐日インド大使の表敬訪問



韓国でのトッププロモーション



副知事をパチカンに派遣

“平和” への思い



2023年の漢字



沖縄で戦没者慰霊



保ブルゲンラント州
交流に関する覚書締結

水のつながり



世界水フォーラム
(湖沼デー制定の呼びかけ)

“いのち” への思い

どうする？

世界と関わり、ともにつくる

“People to People”

本日、お話すること

- ① 10年を振り返って
- ② 今、考える、思う 事々
- ③ 今後に向けて

3 今後に向けて

「輝く」未来へ、ともに生きる「健康しが」

現状認識

- 今後も、人口が減少し、社会構造は変化
- 「これまでの延長線上に未来はないのではないか」という認識も持ちながら、変革していく姿勢が必要
- 生まれてくる子どもたちが成長し、老いていく時や、琵琶湖の水源である森などの自然が積み重ねる年月にも思いを致す
- 50年後、100年後の滋賀の姿を展望したうえで、次代につなぐ責任を持ちながら、方向性を見極めることが重要

重点テーマ

- 「国スポ・障スポ」、「大阪・関西万博」の取組およびレガシーの創出

施策の柱

- 子ども・子ども・子ども
- ひとづくり
- 安全・安心の社会基盤と健康づくり
- 持続可能な社会・経済づくり
- CO₂ネットゼロ社会づくりやMLGsの推進

集中的な取組

- 県北部地域の振興

2100年頃の未来を展望する

しが2100未来研究会★

- ✓ 2100年頃の未来を展望し、そのイメージを共有しながら、バックキャストで道筋を描く
- ✓ 「環境と経済が調和し、幸せが続く滋賀」に転換していくための物差しと共創の形を見出す研究会

- 2100年頃、日本の人口はおよそ半分になると言われている
- 今日生まれた子どもが80歳になる頃、一体どんな世界になっているだろう？
- 「いまの一步」が方向を決めるなら、その“方向感”をどのようにつかむか
- 2100年の姿を展望し、今とは全く違うであろう前提を想定しながら、
「いまの一步」につなげる学びの場を構築

■方向感を掴むために学びたいテーマ

①「環境と経済の調和」

今だけでない、モノだけでない豊かさとは

②「世界を知る」

世界との関わりなしに語れる未来はない
世界の動向や自らの立ち位置を認識

③「人のありよう」

変わる時代に対して、人はどうあるのか

第1回

本日 令和6年7月17日 15時～
講師 河合雅司さん

(一社)人口減少対策総合研究所 理事長、作家・ジャーナリスト

《テーマ》

「人口減少日本で起こること。“戦略的に縮む”ために」